

## コウノトリ 加古川に 地元の松尾さん、水田で撮影

水田を歩くコウノトリ。加古川市八幡町  
宗佐(松尾信一さん提供)



加古川市八幡町宗佐の水田に19日朝、コウノトリ1羽が飛来した。近くに住む工芸家松尾信一さん(58)が目撃。足輪や発信器を体に付け、足元をつ

いはむ様子をカメラに収めた。松尾さんによると、午前5時ごろ、近所に住む父親から「コウノトリらしい鳥がいる」と連絡があり、すぐに駆け付けた。30分ほど水田を歩き回り、餌をつ

いばんだ後、西の方へ飛び去ったという。八幡町内で4年前にもコウノトリを見たという松尾さんは「やっぱり迫力がある。宗佐にも餌場になる田んぼがあると思うとうれしい」と話した。

コウノトリはここ数年、東播磨地域への飛来が増え、東播磨県民局によると、2020年度は過去最多の93羽が目撃された。毎年、餌場を求め、秋冬にやって来ることが多い。担当者は「これから飛来シーズンが来るので、見掛けたら、ぜひ写真を送ってほしい」と呼び掛けている。同県民局 県民課 ☎079・421・9026 (広岡磨璃)